

Gikai

第126号

2025年4月25日

発行

Kamifurano

かみふるの 議会だより

P.2~3 議会懇談会

観光資源を磨き、稼ぐ力を!

P.4~5 町政・教育行政執行方針

執行方針の核心に迫る!

P.6~9 予算特別委員会

今年度の注目事業はこれだ!!

新規事業の全容が明らかに

P.10~13 特集

修正案可決から

我が町初の再議へ

P.14 定例会・臨時会

**プレミアム付き商品券で
商店街をお得に応援 など**

P.15~25 一般質問

新病院完成間近!

でも医師の確保は大丈夫!? など



今号の表紙写真

いしづえ大学入学式

これまでイキイキ

これからもイキイキ



皆さんと
議会の

議会懇談会

地域におもむく議会 ～聴かせてください皆さんの意見～

より開かれた議会となるよう、テーマを決めて話し合う「議会懇談会」。

町民の意見ひとつひとつから上富良野町の課題を浮き彫りにし、議会として政策立案、行政に提言できるよう皆さんの生の声を聞かせていただく大切な場です。

今回はかみふらの十勝岳観光協会理事・事務局のみなさんと「観光」について話し合いが行われました。

参加者からの声

上富良野はPRが弱い！

●富良野美瑛エリアは日本全国、世界中から人を呼べる地域と感じているが、他町に比べ上富良野はPRが弱いのではないかと課題として何をメインの売りにするのかを明確にしてほしい。

●ただの通過地点にならずに町で消費、宿泊してもらいたい。そのためには、飲食店の充実や商店街の活性化が必要不可欠だと思う。

増えていく民泊への対応を！

●民泊に対して反対ではないが、外資で経営しているところも少なくない。近隣とのトラブル回避やクレームへの対応をするためにも、町は誰がどのように経営しているかなどを把握していかないといけない。

宿泊税どうなる？

●宿泊税に関して町はどうしていくのか。宿泊税を取ることは大賛成であるが、その使い道は事業者に還元される形にしてほしい。

道の駅構想は？

●道の駅を作るときには観光協会とも議論を交わし、一緒に構想を煮詰めていきたい。観光協会も利益を得られるようにしてほしい。

冬の観光をもっと充実させて！

●冬の干望峠を活用できないか。

●アジア圏の方がスキーをする際にちよつとだけ滑りたいという要望がある。富良野スキー場等は価格が高い中で、そのような客層を日の出公園スキー場に取り込めないか。

●雪まつりの雪像や滑り台をせっかく作ったのにすぐに壊してしまうのはもったいない。チューブすべりなど、お金の取れるイベントを企画できないか。

日の出公園駐車場有料化は？

●ラベンダーフェス等イベント中だけでも駐車料金を設定しお金を取れないか。もっと上手に活用してほしい。



2月12日（水）セントラルプラザにおいて開催されました

その他に

- 町の観光振興について5年後 10年後どのようにするのか先を見据えて考えてほしい。
- 冬の町営バス十勝岳線のように、無料のサービスを町民向けに実施することは良いが、観光客からはお金をとるような形としていくことが大事だと思う。
- 幸か不幸か上富良野には、まだ外国人観光客が少ないので、今のうちにオーバーツーリズム対策をしてほしい。
- 町のPR力向上のために温泉むすめ、農業機械のラッピングなど注目を集めるものを展開してみても。

など沢山の貴重なご意見をいただきました。



貴重な生の声を議会に届けていただき、ありがとうございました。

議会懇談会はどうでしたか？

もう少しテーマを絞った方が良かったと思います。個人的には宿泊税の導入や民泊について議員個々の考えを聞きたかったです。半年に1度程度、定期的で開催することで距離が縮まり、深い話し合いが可能になるのではないのでしょうか。



ペンション「ランドスケープふらの」
オーナーの佐藤 義高さん



地域おこし協力隊
大関 賢士さん

観光や外国人による土地の取得について話題に上がりました。隣町ではオーバーツーリズムが課題になっていく中で、まだ観光客が比較的少ない上富良野は今うちに手を打つ必要があると感じました。外国人による土地取得も対岸の火事ではないと思います。そのためにも議員の方のより幅広い情報収集能力とスピード感を持った議会運営を進めてほしいと思います。

初めて議会懇談会に参加させていただきました。

移住して、まだ4年目ですがなかなか議員の皆さまとお話する機会がない中で、自身が携わる「観光」をテーマに参加者からの意見を聞いていただき、私も勉強になりました。今後の議会運営のヒントになればと思います。今回は、「観光」という大きなテーマだったため議員の皆さんのご意見をお聞きする機会が少なく感じました。次回は、もう少し具体的なテーマ（課題）を決めて意見交換できるような場になれば良いと思います。町民の皆さんが、観光推進することで利益をもたらすことができる、そんな町になればと思います。今後とも、よろしくお願いいたします。



グランピング施設
「NORTH GLAMPER」
オーナーの菅原 元さん

あなたの声を直接議会に届けませんか？

町内の方で5人以上のグループであれば、どなたでも議会懇談会の開催を申し込むことができます。議会に直接生の声を伝えることで、あなたの課題が町の課題として扱われるきっかけにもなります。

申し込み方法

申込書を議会事務局までご提出ください。

詳細はこちらから [👉](#)



上富良野町議会事務局 (☎ 45 - 6992 FAX 45 - 5362)

議会の概要

町議会では、第1回臨時会が1月14日、第2回臨時会が2月10日、第1回定例会が3月3日から14日、予算特別委員会が3月10日から13日までの会期で開かれました。定例会では、10名の議員が一般質問を行い、令和7年度予算及び基金の一部支出については、予算特別委員会に付託され、審議となりました。定例会の最終日に一般会計予算の一部修正案及び特別会計と企業会計が可決されました。その他、補正予算及び条例の一部改正等を審議し原案のとおり可決されました。また、第3回臨時会が3月17日に開かれ、町長の再議請求について審議されました。

執行方針の詳しい内容は
こちらから



町政執行方針



教育行政執行方針



執行方針概要

豊かな四季の恵みを生かし、産業イベントやラベンダーフェスタ等の四季彩イベントの開催により、町外からの誘客促進につながるよう実施する。

Q. 町民の方々が期待している花火の開催は、どのように考えているか。



湯川議員

A. 町長 町民の方から非常に多くの要望が寄せられていることは承知している。安全対策、渋滞等も含めて開催日をどうするか検討しては。

観光交流

方針を問う！！

人口減少対策



執行方針概要

過疎対策について、北海道過疎地域持続的発展方針と整合性を図りながら策定した上富良野町過疎地域持続的発展、市町村計画の着実な推進を図っていく。



金子議員

Q. 人口減少対策として過疎対策について、町長はどのような見解を持って進めていくのか。

A. 町長 転勤、仕事の関係で上富良野に来た方に家族で住んでもらうのも含めて移住定住だと思う。若い方が住んでくれるよう元気なまちづくりを目指していきたいと考えている。

農業振興



執行方針概要

地域の食ブランドを発信するイベントの開催や、農商工の産業間連携によるまちの魅力度アップに向けた推進体制の強化を図っていく。

Q. 基幹産業は農業である。農業者の作ったものを、町の消費者に農産物フェアなどで上富良野農産物をPRするイベントを行う考えは。



中瀬議員

A. 町長 令和7年度については、調整して収穫祭もしくは、それに代わるようなイベントを催していきたいと思っている。

執行方針概要

高齢者福祉、介護老人福祉事業所として住みなれた地域の中で安心して生活を継続するため、老朽化している施設及び運営について将来に向けた対応を検討していく。

Q. 高齢者施設経営コンサル事業における町長の思いは。



荒生議員

A. 町長 高齢者施設の持続的な運営を図っていくために、将来の町の施設の在り方、ラベンダーハイツを含め財政負担を少なくし、施設及び運営について将来に向けた対応を検討する。

執行方針概要

既存事業者の経営の持続化や新規事業の展開を進め、町内消費の喚起、町外購買力の取組とあわせ後継者不足等の諸課題への対応に向けた取組を進めていく。



米澤議員

Q. 商店街の閉店や廃業が相次ぐ状況になっている。企業誘致、後継者の育成につなげるといった人口増への対策が必要だと思うが。

A. 町長 商店街、企業誘致について関係団体の方と十分協議をしながら、一体感を持って同じ方向に向かっていくということが非常に重要なことだと考えている。

商工業

ラベンダーハイツ

町政・教育行政執行

葬斎場

執行方針概要

猟友会の協力体制や集落協議会との連携の強化を図りながら、国や北海道の支援制度を活用した捕獲機材、施設設置などの対策を継続し、狩猟免許取得費用の助成、新規従事者講習会の実施など、捕獲の担い手育成対策を行い、被害の拡大防止に努めていく。

Q. 他自治体では猟友会と町の関係などが問題となっているのに、方針内容は昨年度とほぼ変わっていないが。



茶谷議員

A. 町長 法律の改正が行われ、そのガイドラインに基づき会議、訓練などを実施していく予定になるかと考える。

執行方針概要

葬斎場は建設から50年が経過し、施設設備の老朽化が進んでおり、適正な維持管理を行うとともに、中富良野町西山火葬場の共同利用について、令和8年度開始をめどに取り組んでいる。



北條議員

Q. 基線道路から火葬場までの道路は、現行のままで良いのか。

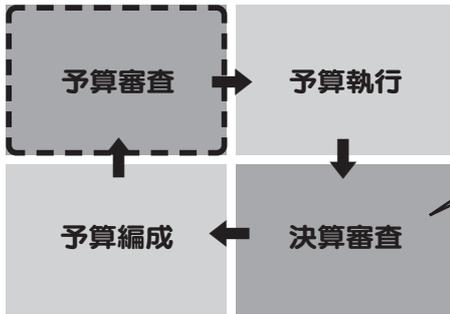
A. 町長 道路を含め不都合があれば中富良野町と検討していきたいと思う。

有害鳥獣

令和7年 予算特別委員会

議会が厳しくチェック！！

町の予算の流れ



前号 125 号に掲載

 ☞ 要 check!!

新年度予算は慎重な審議が必要のため、3月定例会で予算特別委員会を設置し議長を除く12名の委員で構成され、岡本副議長を委員長に4日間で多くの質疑が行われ、その中で各委員(議員)の注目事業とピックアップした質問を掲載しました。

予算特別委員会の設置

議員が注目した予算はこれだ！
期待どおりの成果が見込めるがしっかり検証！！

人口が減少している中、町の財政運営は、ますます厳しくなってくることが予想されます。新年度予算が提案されましたが、真に町民福祉向上のために長期視点に、公平公正であるか、将来の財政事業を見据えているか、無駄がないか、それぞれの議員が慎重に審議し、議決に至りました。
 令和7年度が町民の皆さまにとって素晴らしい年になることを心から願うところです。

議長
中澤
良隆



人口減少に歯止めがかからない中、様々な業種で人手不足が懸念される。エッセンシャルワーカーをはじめとする人材の確保を効果的に図れる事業の組み立てとなっているかに注目したい。

- ①町立病院の医師確保
- ②保育士・介護士確保
- ③農業の担い手確保

佐藤大輔議員



ラベンダーハイツの将来を見据え、町全体の福祉施設のあり方を踏まえた上で、同規模の建て替えを行った場合や、規模縮小・規模拡大等の再整備を行った場合の経営状況の推移の把握を目的とした事業に注目したい。

- ①カムローズ市訪問事業
- ②高齢者施設経営コンサル事業
- ③地域プロジェクトマネージャー事業

荒生博一議員



我が町の高齢者施設全般における、将来を見据えての正確な方向性を出し、健全経営ができるよう、見守って行きたい。また、映画製作の完成を祈り、更なる町の発展に期待する。

- ①高齢者施設経営コンサル事業
- ②地域プロジェクトマネージャー事業
- ③ジオパーク全国大会

湯川千悦子議員



町においても親が仕事などで家庭にいないとき、子どもだけで食事をしている状況がある。ひとり親家庭等の子どもに対して居場所の提供と学習支援は、子どもや親にとっては大きな支えになる。

- ①保育士等確保対策事業
- ②子ども生活・学習支援事業
- ③ジオパーク推進事業

米澤義英議員



予算特別委員会

 <p>金子益三議員</p>	<p>①地域プロジェクトマネージャー事業 ②高齢者施設経営コンサル事業 ③カムローズ市訪問事業</p>	<p>人口減少・地域産業衰退・物価高騰など先行き不透明な時代に真に住民が望むことに予算計上があるのか無駄はないか。住民の声がしっかりと行政運営に反映されるか。福祉介護医療が安定的継続的に運営されるか注目する。</p>
 <p>林敬永議員</p>	<p>①地域プロジェクトマネージャー事業 ②高齢者施設経営コンサル事業 ③こどもの生活・学習支援事業</p>	<p>町の財政が依然として厳しい状況のなかで、未来のまちづくりを考えた予算編成作業は困難を極めるが、その予算によって私たちの生活には大きな影響がある。しっかりと行政運営が進められることに期待する。</p>
 <p>茶谷朋弘議員</p>	<p>①定住移住促進 ②ジオパーク全国大会 ③子育てに関わる施策</p>	<p>人口減少が進む中若者の移住定住と、他町への流出を防ぐことが大切であり、そのためには子育て支援の充実が重要と考えるが、町の姿勢はどうか。今年度予算編成から見極めていきたい。</p>
 <p>中瀬実議員</p>	<p>①町立病院医師確保 ②高齢者施設経営コンサル事業 ③地域プロジェクトマネージャー事業</p>	<p>医師確保は病院経営の最重要課題。高齢者施設経営コンサル事業で方向性が見極められることに期待。地域プロジェクトマネージャー事業の活用により課題解決できるか。</p>
 <p>井村悦丈議員</p>	<p>①雇用対策 ②新町立病院 ③泥流地帯映画化プロジェクト</p>	<p>雇用促進のため、企業振興事業の継続や、UIJターン新規就業支援、保育士等確保事業、町の奨学金の返還支援制度などによって、町内事業所への雇用促進と人材不足の解消につながることを期待する。</p>
 <p>北條隆男議員</p>	<p>①高齢者施設経営コンサル事業 ②保育士等確保対策事業 ③社教センター天井改修工事</p>	<p>町全体の福祉施設のあり方を踏まえつつコンサル事業の報告書に注目。保育士・保育教諭・幼稚園教諭・栄養士・管理栄養士の資格を持ち、一定の雇用・居住条件と助成金が見合っているか疑問。</p>
 <p>小林啓太議員</p>	<p>①新病院運営に関わる予算 ②子育て支援に関わる予算 ③人材不足解消に向けた雇用対策</p>	<p>新病院が開院するこのタイミングで速やかに不足している医師を補充し経営を安定させられるか。様々な分野で活用される雇用対策を運用し、町の人材不足を解消しつつ新たな人を呼び込めるか。</p>
 <p>岡本康裕議員</p>	<p>①UIJターン ②ジオパーク全国大会 ③こども生活・学習支援事業</p>	<p>人口減・少子化の中、どのようにして町に賑わいをもたらす事業ができるか。また、将来を担う子どもの学習支援がしっかりと計画されているか注目。</p>



新たな人材確保に向けて 3つの新規事業がスタート!!

どう使われる?

令和7年度予算

360

① UIJ ターン新規就業支援事業 100万円

町内への UIJ ターン就職の促進を目的として、東京 23 区から上富良野町内に移住し、移住支援金対象法人に就業した方等に対する移住支援金について、北海道と上富良野町が共同で UIJ ターン新規就業支援事業として行い、移住支援金を交付する事業です。

Q. 良い仕組みだと思うが、マッチングが大変では?

A. 町内の事業所には積極的にマッチングサイトへ掲載するよう勧めたい。

Q. 5年以上継続して居住する意思があることが条件とのことだが、5年以内に他の町へ移住した場合ペナルティはないのか?

A. 支援金を返還してもらうことになる。

の質疑

4日間に及ぶ新年度予算の質疑では、議員から町のあらゆる事業に対して質問が飛び交い11名の委員から計360個の質疑が行われました。限られた予算が適正に計画、執行されるよう議論を尽くしたその先に辿り着いた答えとは…。ここでは質疑の一部をご紹介します。

ひとくち
メモ

Uターン：生まれ育った地元への移住

Iターン：出身地とは別の地方への移住

Jターン：地方から都市部へ移住し就職した後、故郷に近いところへの移住

② 地域プロジェクトマネージャー事業 983万円



特産品のポプリとラベンダーオイル

町が取り組んでいる「地域特産品保全プロジェクト」と「泥流地帯映画化プロジェクト」の促進を目的として、役場職員では専門的な知識や経験が不足していることから、この2つのプロジェクトのリーダーとなる人材を外部から登用する事業です。

Q. 地域プロジェクトマネージャーの募集方法は?年齢制限はあるか?

A. 募集はホームページのみ。年齢制限はない。

Q. 地域特産品保全プロジェクトの内容は?

A. ラベンダー、ホップ、シソの作付け農家戸数や収量減少など、課題に取り組んでもらう。

③ 保育士等確保対策事業 340万円

人員の確保や離職防止を目的として、町内の認定こども園において、新たに常勤雇用として採用された保育士、保育教諭、幼稚園教諭、栄養士、管理栄養士の資格を持ち町内に居住する方に必要となる費用及び家賃の一部を補助する事業です。

Q. 新規採用に加え、潜在保育士に対しても制度を適用しようとは考えなかったのか?

A. 保育士確保状況に応じて今後検討していきたい。

Q. 上富良野町在住で他町の園に勤めている保育士さんが退職し上富良野町の園に就職した場合は対象となるか?

A. 今の所は対象にはならない。

ラベンダーフェスタやライブアップで観光客が多く集まっていますが、観光客が観光して終わり、消費行動が地域経済に十分に還元されていないので、手軽にその場で買える商品を販売するなど、収益に繋げてほしいです。



まつうら まさひろ
松浦 正弘さん

どうなる!? 道の駅構想と 泥流地帯映画化

道の駅機運醸成視察研修 1万1千円

我が町に相応しい道の駅の姿を考える機会として、町民と職員と一緒に道内の道の駅を巡るための予算です。

- Q. 道の駅の視察は誰が行くのか?回数はいくつ?
- A. 町民を対象に町営バスを利用し、日帰りで2回実施する。
- Q. 視察する道の駅は決定しているのか?
- A. ロケーションやコンセプト、駐車場の規模などに鑑み現在検討中である。

江花地区の見晴し台公園からの眺めは素晴らしいと思います。道の駅構想も進むと思いますが、とにかく町に活気が欲しいですね。



昨年12月にオープンした
kamifurano oyaki base
店主 にしむら かずひこ 西村 一彦さん

今年の9月に、ジオパーク全国大会が上富良野町と美瑛町で開催されると聞きましたが、町の盛り上がりが少ない気がします。PRをもっとしてください。



しもぞの ふみえ
下園 二三江さん

泥流地帯映画化を進める会負担金 70万円

コロナ禍の影響などで、これまでに2度、映画製作会社との協定解消を余儀なくされましたが、このたびの、実写映画化の正式決定を機に、更なる機運醸成を図るための予算です。

- Q. 泥流地帯映画化の財源は?
- A. 使途目的を映画化プロジェクトに限定した企業版ふるさと納税や、個人の寄付で賄う。
- Q. 映画化にも多少関わるが、今年度も日本酒の醸造に取り組むのか?
- A. 今年度は新たに「十勝岳」ラベルのものを加え「泥流地帯」と2種類のラベルで販売する。また、お土産等で利用しやすい300mlのものも販売する。

ラベンダーハイツの将来を見据え

高齢者施設経営コンサル事業 418万円

町全体の高齢者福祉施設のあり方を踏まえた上で、ラベンダーハイツの建て替え規模と、規模に応じた経営状況の予測など、専門家に分析、提案してもらうことで町に必要な介護サービスと適切な規模を把握することを目指す予算です。

- Q. どのような成果を求めているのか?
- A. 我が町の介護の生産性(質)を上げることにつなげたい。
- Q. 418万円もの財源を投じる価値があると信じて良いか?
- A. 町の思いをしっかりと伝え、値打ちのあるものになるよう努める。

町が今回取り組んでくれる保育所就労支援金や家賃補助の支給は当事者にとっても保育園側にとってもありがたい。人手不足の原因となっているものを一つ一つ解消して「働く意欲」を上げていくことが大事だと思います。この保育園に入れて良かったと思われるような選ばれる園づくりを頑張ります。



わかば中央保育園の先生方

何が起こったの!?

わかりやすく解説



町長

姉妹都市のあるカナダに今後の関係について、話に行くために渡航旅費として 100 万円を使いたい。



ちょっと待った!!

カナダに行くのは良いが目的が見えないので 100 万円は認められない!



議会



議決に納得できない!!



町長

議会は誤解している! 100 万円は必要な予算! もう一度審議してほしい。再議書を提出する。

何度説明を聞いてもやっぱり目的が見えないから 100 万円は認められない!



議会

結果は変わらず修正案再可決

町長が再議書を提出!

ひとくち
メモ

動議とは・・・町長から提出された議案を審査した中で修正・変更を求めるもの
再議とは・・・議会の議決に対して町長が異議があり再審議を求めるもの
(議決を受けた日から 10 日以内に理由を付して請求する)

再議に関する流れ

2月21日

総務産建常任委員会で、カムローズ側の代表者が来町した際に意思を確認し、盟約を延長するのか解除するのかを判断すると説明があった。

2月26日

全員協議会で、盟約を延長するにしても解除するにしても、行く必要があると説明があった。

3月10～13日

予算特別委員会を開き令和7年度一般会計及び特別会計・企業会計予算全般に関して質疑が行われた。

3月13日

一般会計予算案に計上された、姉妹都市であるカムローズ市への訪問事業に係る特別旅費100万円を認めないとする修正動議が8名の議員の名で出されたが、意見が分かれ討論に。
修正案に対して委員長（副議長）を除く11名の委員で採決が行われ、賛成9反対2で修正案が可決される。

8名の議員が修正案を提出した理由

カムローズ市との友好都市提携は、昭和60年に始まり多くの町民がカムローズ市を訪問してきた。20周年記念事業では、中高生18名を含む町長以下23名が訪問、25周年は町長以下友好団体を含む13名が訪問し、盟約を延長。平成27年には故ミチコ会長をお招きし、上富良野町で30周年記念式典を行い盟約を延長している。このように、議会及び町民の深い関わりと歴史があり今に至っている。しかし、この度の40周年という節目を迎えるにあたって、盟約を延長するか否か、今後の事業展望など、議会や町民に対し事前の協議はなされなかった。このことは40年間、尽力された方々や町民の代表である議会を軽視する行為である。

加えて、町長からは友好提携の延長若しくは解除に関する明確な意思表明はなく、質疑応答を経て、カムローズ市を訪問する目的が不明確である。本来、国内外交流推進基金は町民の国内外の交流を図るといふ用途目的からすると、盟約の継続、解除に関わらず、40年という節目に子供たちや文化スポーツ団体等、訪問団結成の上、カムローズ市を訪問するべきと考えるが、今回は町長及び議長のみの渡航目的に基金が使われようとしている。
以上の理由により、今回のカムローズ市訪問に係る特別旅費については認めることは出来ないので減額した修正案を提出する。

修正案に対する議員同士の討論内容

修正案に賛成

北條議員

友好都市提携の在り方など、議会に対し詳しい説明がなされていない。町民の意見を聞きながら事業の組み立てを含め、今、慌てずに8月までに議論をし、予算措置を講じても良いと考え本修正案に賛成する。

林議員

今後の交流の方向性を持たずに、協議するためだけの曖昧な渡航理由では、この厳しい財政事情のなかでの渡航旅費の計上は理解できない。協議するだけなら現代の通信手段で可能であることから本修正案に賛成する。

修正案に反対

米澤議員

予算全体が総花的である。住民の声をしっかり聞くこと、町民に寄り添い暮らしを支えることなくして町の振興はありえない。この部分的な修正案では、本来のまちづくりが出来ないと考え、本修正案に反対する。

小林議員

盟約の延長、終了いずれにしても訪問の必要があると考える。その予算を然るべきタイミングで計上しなくてはならないのであれば、年度当初のタイミングである今が最善と考え本修正案に反対する。

そして再び修正案が可決！

今年度予算は特別旅費100万円を
削減した86億9千200万円に決定!!

3月17日

修正案に対して議長を含めた13名の議員で採決を行い、賛成10反対3で再び修正案が可決された。(再議の際は、議長を含めた2/3以上の議員の賛成が必要となる)

臨時会が招集され、町長から再議の提案理由説明を受け、9名の議員から質疑が行われた。

3月14日(午後)

町長が修正案に対して異議を申し立て、議長に再議書を提出し、修正案が再び審議されることになる。

3月14日(午前)

定例会最終日に、特別旅費を減額する修正案可決とした予算特別委員会の報告に対し、議長を除く12名の議員で採決が行われ、賛成10反対2で改めて修正案が可決される。

町長が再議書を提出した理由 (原文のまま掲載)

① 予算の意義と予算措置(特別旅費)の必要性

予算は、一会計年度における収入支出の見積りを意味し、一会計年度における地方公共団体の活動に要する経費とこれをまかなうために必要な財源の見通しをたて、その金額、目的等を定める計画であって、地方公共団体の財政運営の指針となるものであり、これに基づき経理されるものである。地方自治法第210条に規定する「総計予算主義の原則」に基づき、一会計年度における一切の収入及び支出は、すべて歳入歳出予算に計上することとなっていることから、友好都市提携40周年の節目の年度に必要最低限の経費(特別旅費)を計上することは至極当然であり、補正予算とするほうが法の主旨に沿っていない。

② 予算特別委員会における審議質疑への異議

予算特別委員会での質疑の中で、カムローズ市訪問時に友好都市の継続か否かを判断するとした内容となっており、正確な質疑が審議に反映されていない。当該委員会における審議の中で、提携の継続が否かにかかわらず、一貫してカムローズ市には行くべき旨の発言をしており、何ら方向性を定めぬまま渡航する(渡航後に方向性を定める)という誤解をもって審議されていた。

旅行の時期や友好都市継続の未確定を理由に削減されたが、予算は必要な財源の見通しをたて、その金額、目的等を定め計画するものであり、予算内容すべてが確定されているもののみで当初予算を計上することは不可能である。

③ 「友好都市であるカムローズ市への特別旅費」の必要性

交流促進費の特別旅費については、友好都市であるカムローズ市に、今後の盟約若しくは今までの盟約を終了することを決定した後の旅費であり、カムローズ市を訪問し、継続が否かを判断することが目的ではなく、盟約約定による10年に一度の見直しした結果の旅費であることを説明し、予算特別委員会の質疑においても発言していることから、修正予算の提出理由には何らの根拠がない。また町のトップである私が訪問することは、単なる契約行為ではなく、国際的な盟約であることから当然の行為であり、これらの事項に係る経費を見積り計画し、これに係る事前準備や協議を進めるためにも予算計上することは当然である。

上富良野町初の!! 修正案可決から 再議へ

再議に対する質疑と町長の答弁

佐藤議員
Q. 今年40周年を迎えるのは既にわかっていたことである。一体何のために渡航をするのかという目的ぐらひは、予算上程時に明確にする責任があったと考える。この事業への取りかかりが遅かったのでは。

町長
A. カムローズ市側の担当になっていた方が一昨年亡くなった。その後、代わりになる人がいるのかどうか連絡を取ってきたが、我々の判断が遅かったことで今回御迷惑をおかけした点については重々反省しなければならぬと思っている。

茶谷議員
Q. 町長は修正案の提出理由に何ら根拠がないと述べたが、誤解を生んでしまうような説明であったり、予算の計画が不十分であったり、このような点は修正案の提出理由にはならないと考えているのか。

町長
A. 間違った認識で討議されるのが非常に残念で、それが根拠がないと述べた理由である。原因となる事前の話し合いについては、私にも責任の一端はあると考えている。

林議員
Q. 議員の質問に対して町長が答えたことをもとに判断したつもりだ。町長は我々との間に誤解があったと述べたが、どの点を指しているのか。

町長
A. 審議の中では盟約について何も決めないまま渡航し、カムローズ市で決定するとの前提で話が進んでいたが、渡航してから相談して決めるのではなく、盟約を延長するの可否は5月の段階で決めると述べていた。

北條議員
Q. 町長は延長するにしても、やめるにしても行かなくてはならないと述べた。これはカムローズ市との約束なのか。あるいは契約によるものなのか。

町長
A. そういう契約にはなっていない。あくまで儀礼的なものである。相手方に実態が無いため、いずれにせよ私がしっかりと御挨拶、お礼をしなければならぬと考えている。

金子議員
Q. 国際交流に意欲のある人たちの気持ちが何も反映されないうまま、今後においてカムローズ市との提携を延ばすのか、やめるのかを町長1人で判断するような話をしているところが非常に残念である。何故そこに町民は入らないのか。

町長
A. 関係者全員というのは難しいが、一部関係者から既に見聞いている。現在の相手方代表者が5月に来町した際には、なるべく多くの方と意見交換をしたいと考えている。

小林議員
Q. 渡航そのものに反対ではない議員も多々いたと思う。今回、修正案が再度可決された場合、今後、補正予算を組むなどして、改めてカムローズ市に渡航する費用を議会にはかるという選択肢はないのか。

町長
A. 当初予算が0円になることは非常に重く、カナダへの訪問は極めて困難であると思っている。行かずとも文章で盟約のサインは出来る。それで良いということであれば致し方ないと考えている。

補正
予算

誰もが安心して通行できるように
除排雪費増額へ **8,310万円**



議会 Pickup

年末までは平年並みの降雪量で推移していましたが、1月の暖気によるザクザク路面の対応、1月末の大雪や2月上旬の強風による対応に加え、それ以降の状況を想定した中で試算した町道維持経費（除排雪の経費）の追加補正を可決しました。

多くの町民の声に応じて
プレミアム付き商品券発行へ
3,300万円

消費喚起とともに生活支援の観点からプレミアム額20%を付した商品券及び電子クーポンを発行し、売り上げが減少した町内事業者の支援と収入減少・物価上昇により疲弊する町民の生活支援を同時に図ることから、補正予算を可決しました。



電子クーポンはセントラルプラザと役場で取得可能

臨時会

富良野広域連合議会

第1回定例会

令和7年第1回富良野広域連合議会定例会が2月12日に開催され、連合長から行政執行方針が述べられたほか、補正予算及び新年度予算案、条例案が原案のとおり可決されました。

令和7年度一般会計予算は、歳入歳出総額をそれぞれ25億859万7千円（前年比82万3千円減）となりました。

家計への応援
1世帯当たり3万円の給付金支給へ
5,038万円

エネルギー・食品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、国の物価対策として、家計への影響が大きい令和6年度の住民税が非課税となった世帯に対して給付金が支給されることから、補正予算を可決しました。

上富良野のここが聞きたい!!

町民の思いを届ける 60分



 <p>① 斉藤町長2期目の町政運営に関して ② 分館活動費に関して</p> <p>小林 啓太 議員</p>	 <p>① 老朽化する公共施設の改修計画及び、今後の運営について</p> <p>湯川 千悦子 議員</p>
 <p>① 令和7年度新年度予算編成について ② 特別養護老人ホームの運営について</p> <p>林 敬永 議員</p>	 <p>① 持続可能な上富良野農業振興に向けて</p> <p>井村 悦丈 議員</p>
 <p>① 新こどもセンターと東児童館の運営について ② 地域おこし協力隊の定住について</p> <p>茶谷 朋弘 議員</p>	 <p>① 新しい町立病院のこれからの運営は</p> <p>金子 益三 議員</p>
 <p>① こども誰でも通園制度について ② 宿泊税について ③ 道の駅について ④ 体育館など避難施設の空調設置について ⑤ スキーリフトの更新について</p> <p>米澤 義英 議員</p>	 <p>① 斉藤町政2期目の行政課題の進め方について</p> <p>中瀬 実 議員</p>
 <p>① 上富良野町立病院の経営について</p> <p>荒生 博一 議員</p>	 <p>① 自衛隊との共存共栄について</p> <p>佐藤 大輔 議員</p>

※一般質問のページは質問議員本人により編集されています。

議会を傍聴してみませんか？

3月定例会の傍聴者は 34人

次の定例会の開会予定は…

6月18日(水)、19日(木)です

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

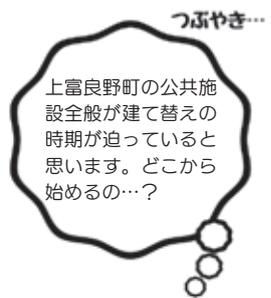
公共
施設

老朽化する公共施設の改修計画と今後の運営は

町長－財政状況を考慮し、施設のマネジメントを進める

役場庁舎は、昭和42年建築で築57年、公民館は築53年、更にラベンダーハウスも築40年が経ち、クリーンセンターも大規模な修繕などが必要な時期を迎えている。学校給食センターも築45年で老朽化が進んでいる。これらの公共施設の改修の優先順位について、町長の

湯川議員 令和6年3月に改訂された上富良野町公共施設等総合管理計画によると、公共施設等の整備を進め、老朽化した施設について修繕や改修を行い、維持や機能の向上を図ってきた。公共施設等の建て替えや改修をより計画的に進めていかなければならないと考える。



老朽化している学校給食センター

湯川議員 役場庁舎は、

考えを伺う。



湯川 千悦子 議員

齊藤町長 公共施設等総合管理計画において、役場庁舎をはじめ各施設間における具体的な改修等の優先順位について、現時点での内容を示すことは持ち合わせていない。

齊藤町長 大規模災害時には対策本部としての機能を持たざるを得ない。戸籍や様々な重要書類が保管されている場所でもある。安全確保は最重要であり、優先順位は低くないのではないかと。

湯川議員 現在、富良野広域連合で学校給食センターや環境衛生センター等を運営しており、ごみ処理についても富良野圏域市町村で連携を行い進めている。今後様々な分野において公共施設の広域での運営が求められると考えるが、給食センターや消防署、そして介護施設等の改修時期に合わせて、近隣自治体との新たな枠組みでの共同運営を行っていく考えは

湯川議員 現在、富良野広域連合で学校給食センターや環境衛生センター等を運営しており、ごみ処理についても富良野圏域市町村で連携を行い進めている。今後様々な分野において公共施設の広域での運営が求められると考えるが、給食センターや消防署、そして介護施設等の改修時期に合わせて、近隣自治体との新たな枠組みでの共同運営を行っていく考えは

齊藤町長 優先性や有利性が出来れば広域連携も必要であると考えます。

湯川議員 給食センターは施設と設備は自賄いで上富良野町が行っているものであって伺うが、非常に劣悪な環境で今まで事故なく来たのは働く職員の皆様のおかげだと思いが、せめて児童生徒の安心・安全な食のため、働く職員や調理員のために給食センターは早い時期に改修が必要と考えますが、町長の考えは。

ひとくちメモ
上富良野町の保有する施設の総数は272施設で、公営住宅が床面積で26%と最も多く、次いで学校教育系施設が22%、スポーツ・レクリエーション系施設が10%の順に多くなっています。

繋げる
農業

経営維持を目指した基盤づくりを

町長－後世に繋げる生産基盤の整備と充実を図っていく

井村議員

上富良野町の

農業の特徴は、原野部では水稲を中心に施設園芸も盛んで、内陸性気候によって気温の日較差が大きいことから、おいしいメロンなどのほか、様々な作物が作付され、恵まれた地域である一方、盆地型地形から山間部では条件不利地などの農地も多い中、土地利用型農業で、規模も大きく耕作され、主に小麦、甜菜、大豆、馬鈴薯などが作付されている。

1戸当たりの経営面積が増え、小麦、豆類の作付はさらに増える中、連作障害、病害虫の発生により品質低下、収量の減少が見受けられるのが現状で、主要畑作物の小麦

つぶやき...

次の世代へ引き継いでいけるように時間はかかるが、良い土壌を作っていくことが上富良野農業の底上げになり、持続可能な基盤となると考える。



井村 悦丈 議員

においてその要因が顕著に表れている。そのことから主要作物の小麦の収量を少しでも底上げする手立てを講じる必要があると考える。地球温暖化に伴う影響は気象災害だけでなく、食料不足や

健康リスクの増大、農業現場では高温などにより、品質・収量面で影響を受けている。2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルの取組が開始されている今、農



堆肥散布で土作り

作物の品質や収量の向上、化学肥料の使用量低減などの効果が期待できる取組として、地元畜産農家との連携を図り堆肥の施用を促すなど、次世代の担い手のための持続可能な安定生産・経営維持を目指した様々な基盤づくりを、今から時間をかけて行うことが上富良野農業の底上げになると考えるが、町長の考えを伺う。

齊藤町長

農業に対する

地球温暖化の影響は、気温の上昇や気候変動により、作物の生産量や品質、農作業の適期が変化し、世界規模での食料供給に影響を及ぼす可能性があり、その影響の中でも、水資源への影響や極端な気温上昇や集中豪雨により、土壌の乾燥や侵食が進むなどの農作物生産の根幹である農地、土壌が受ける変化や影響は、非常に重要な課題と捉えている。

今後においても、これまで取組を進めている環境保全型農業直接支払交付金事業を継続する中で、現行の良質な堆肥利用と併せて土壌改善の効果も期待できる緑肥や地力増進作物など利用拡大の取組を促進することにより、後世に繋げる生産基盤の整備と充実を図ってまいりたいと考えている。

ひとくちメモ

環境保全型農業直接支払交付金事業とは化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に対し支援するもの。

病院

新町立病院の今後の運営は

町長－常勤医師の充足が最重要課題と考える

つぶやき…
町、病院、議会が一体となり医師確保に真剣に取り組み町民の健康と生命を守らなくてはならない。



金子 益三 議員

金子議員 町長はどのよう
に常勤医師を確保する
のか。またその見直しは。
斉藤町長 これまで旭川
医大医局、その他医局関
連の関係者への派遣要請
を行ってきたが、現
在のところ常勤医師確保
には至っていない。早期
に医師確保ができるよう
引き続き旭川医大はもと
より関係各所への派遣要
請を行っていく。

金子議員 熱量が足りな
いと思うが。
斉藤町長 熱量が回数な
のかは別として、私自身
確保したいという思いは
あるが、医局、相手があ
ることではなかなか上手く
いってはいない。
金子議員 医師確保に向
け町と議会と病院とで、
プロジェクト性のあるも
のを考える考えはないか。
斉藤町長 そういう組織
を作ることは念頭には無
いが、都度、意思疎通を、



多くの期待が寄せられる町立病院

議者と町民も含めて情報
交換、情報共有するその
重要性は認識している。
金子議員 今後の病院運
営のために看護師定数の
見直しを行わないか。
斉藤町長 予備で定数を
増やすということは、今
の段階では難しいと考え

金子議員 今後の病院運
営の方向性について、新
しい診療科目の営業も必
要と思う。
金子議員 診療科目の復
活に向けた病々連携の推
進や、旭川医科大学への
働きかけを行っているか。
斉藤町長 富良野協会の
院への働きかけを行って
いるが、医師不足により
実現には至っていない。
旭川医大への働きかけに
ついては、現在のところ
行っていない。

金子議員 新たな医療提
供体制というのは。
斉藤町長 安全性や居室
の広さ、動線がよくなっ
たとか、いろいろ新しい
体制というのが、メリッ
トがあると思う。
金子議員 町民が求める
新たな体制に対する町の
努力は今後どのように行
っていくのか。
金子議員 継続的な病院
運営のために負担金、補
助金は今後どの程度まで
繰出しができるのか。
斉藤町長 救急などの不
採算部門や入院・介護施
設を維持し、安定性の確
保、医療サービスの質を
維持するために一般会計
から一定の支援が必要で
あると認識しており、今
後の繰出額、病院の経営
状況や町の財政状況を総
合的に勘案した上で適切
に決定する必要があると
考える。

ひとくち
メモ
病院とは…20床以上の入院施設を持つ医療
機関であり、医師が3名以上、看護師や医
療従事者は患者数に応じて必要人数が決
まっている。診療所はそのような制約はない。

行政
課題

「町立病院経営改善プラン」の見直しは

町長－経営状況を検証し計画見直しが必要

つぶやき…

ラベンダー・ハイツを含め町の公共施設は老朽化が進んでおり、計画的な改修が必要だ！



中瀬 実 議員

中瀬議員

医師確保が

来ないことにより、町立病院経営改善プランも見直しが必要と思われるが。

斉藤町長

医師の確保や

業務の改善、効率化した現状の課題を踏まえ、新病院移転後の経営状況を評価・検証した上で計画の見直しが必要と考えている。

中瀬議員

ラベンダー・

ハイツの維持管理については、町が継続して使用するのであれば、年次計画を持って規模や予算を立てるべきと思うが。

斉藤町長

今後10年は現

在の施設を継続していきたい。町内の介護資源全体を多角的に分析し、町のこれからの将来にどういった介護施設が必要か



早期改修が望まれるラベンダー・ハイツ

を把握するため、高齢者施設経営コンサル事業として専門業者に委託する。

その結果を踏まえ、ラベンダー・ハイツの将来像を見極めていく。

中瀬議員

道の駅構想に

ついて、町長が思い描いている道の駅について、町民と各地の道の駅を巡る見学会を検討している。

ている道の駅について伺う。

斉藤町長

今年度は機運

醸成に向けた取組みとしてワークショップの開催、令和7年度においては、町民と各地の道の駅を巡る見学会を検討している。

様々な機能について今後町民の皆様と検討していきたい。

中瀬議員

ジェットコー

スターの路の迷惑駐車対策はどのように解消する考えがあるのか。

斉藤町長

携帯端末の位置

情報を利用した人流データについて収集・分析を進めている。この分析結果を基に、観光インフラとしての方向性や整備した場合の投資効果について検討し、計画期間に一定の効果を出せるよう取り組んでいく。

中瀬議員

道内のヒブマ

出件数が年々増加傾向にある。各地で分布数が拡大しており、人身被害や車との衝突などの事例の報告もされている。地の

域住民の生命と安全を守ることが第一であり、人命に関わることから、その対策が急務と思われるが、町の対応状況は。

斉藤町長

ヒブマ出没対

応は、出没の通報後速やかに防災行政無線とホームページによる出没情報を周知し、出没場所に注意看板を設置し、注意喚起を行い、付近の巡回パトロールを実施する。監視カメラの新設や箱篋の増設をし、安全対策を進めている。

中瀬議員

住民会の再編

の協議は。住民会や連合会での懇談の中では、今すぐ再編を望む声があった。引き続き各住民会や連合会とも情報・課題の共有を図っていく。

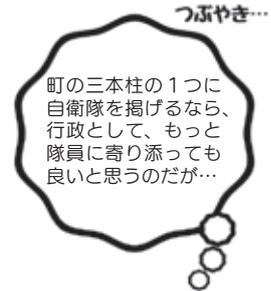
ひとくち
メモ

鳥獣保護管理法改正案…人の日常生活圏にクマやイノシシが出没した場合、地域住民などの安全確保を前提に銃猟を可能とする鳥獣保護管理法改正案を閣議決定し、国会で決定した。

自衛隊

隊員の優待制度が広がるよう努めては

町長－公平性が保てないと考える



佐藤議員 町内には隊員及びその御家族に対し、

佐藤議員 例えば税の優遇措置を講じるなど、町民の暮らしに欠かせない業種と退職される隊員との就活マッチングに深く関与する考えはないか。

斉藤町長 今のところ考えていない。

佐藤議員 有害鳥獣の農作物被害や、市街地での熊出没は今後も我々を悩ませるだろう。退職する隊員を対象に、町の職員としてハンターを募集してはいかがか。

斉藤町長 ハンターを町が直接雇用するという計画はない。退職する隊員を町が雇用する場合は今までのルールどおりである。



佐藤 大輔 議員



令和5年度は「自衛隊との共存共栄のまちづくり」に約2,400万円のふるさと納税寄附が寄せられた

特別価格で施設を利用してのサービスを提供する事業所がある。商工業者を下支えしてもらったためにも、隊員とその家族に対する優待制度の輪を行政主導で広げては。

斉藤町長 一部住民に限定した優待制度等のサービスを行政が主導することとは公平性が保てない。

佐藤議員 南富良野町では自衛隊が訓練で使用する際、町営スキー場のリフトは無料だが、我が町では訓練であっても半額である。まずは行政が公

共施設の利用料を無料にするなどして、町内事業者に対し優待制度の機運を高めてはいかがか。

斉藤町長 利用料の減免、無料どちらが良いのか、考え方は様々ある。

佐藤議員 隊員向けの新築住宅補助金制度の創設など、隊員が「上富良野に住みたい」「上富良野に住み続けたい」との思いを抱いてもらえるような施策の展開を望むが。

斉藤町長 一部の町民が優遇される制度は、行政として取り組むことは困難である。

佐藤議員 公平性に懸念があるのであれば、いっそのこと両隣の自治体のように、全ての方を対象とした新築住宅補助金制度を検討してはいかがか。結果として隊員の定住につながると思うが。

斉藤町長 今は検討していない。既にリフォーム補助制度はあるが、近隣自治体との差別化をどう図っていくかは課題だと思っている。

佐藤議員 ふるさと納税寄附項目「自衛隊との共存共栄のまちづくり」には毎年多くの寄附が寄せられている。これらを財源としながら既成概念に捉われない施策を講じ、日本一自衛隊員に寄り添う町を目指して欲しいが。

斉藤町長 人口減少が進む中、共存共栄をどのようにつなげていくかは大きな課題である。新しいことにもチャレンジしながら、今までの絆を更に太いものにしていきたい。

ひとくちメモ

陸上自衛隊上富良野駐屯地が創設されてから今年で70年を数えます。6月1日に開催される創立70周年記念行事では、ブルーインパールの展示飛行が行われる予定です。

政策全般

24 時間体制の子育て支援の実現は

町長—多くの困難があり現時点では実現は難しい

小林議員 観光に関してどのような政策をもって通過型から滞在型への変化を目指すのか。

斉藤町長 民間の事業者の方の力を借りて町内で宿泊できるベッド数を増やしていきたい。そのために新規開業の補助金などをPRしていく。

小林議員 雇用と移住を一つの窓口で対応できる体制が有効ではないか。

斉藤町長 移住と雇用のペアリングはワンストップでできる可能性は高いので、検討、研究していきたい。

小林議員 空き家や空き地の有効利用に関して、先進自治体では専門家の協力を得て利活用しているケースもあるが。

小林議員 24時間体制で



カラオケを通じて地元住民と交流する外国人旅行者

斉藤町長 空き家の除去は進んでいるが、活用に関してはなかなか進んでいない。現在の取り組みがこれ以上効果を認めない様であれば、ノウハウを持つ人を活用する方法も一つかと思っている。

小林議員 子育てを支援してくれる行政サービスを望む声は強く、様々な手法を検討して体制の構築が期待されるが。

斉藤町長 困難ではあるが非常に重要であり、チャレンジし続ける価値はある。

分館活動費の見直しについて

小林議員 現在郡部の分館活動費が見直されているが、話し合いの進捗と、その内容を踏まえた今後の方向性は。

鈴木教育長 公民館分館管理運営交付金の見直しについては既に3回の会議を行い、議論をし、意見を集約した結果、令和7年度から2か年をかけた見直しを図ることとし、令和9年度から住民自治活動推進交付金に統合することで確認している。

鈴木教育長 公民館分館管理運営交付金の見直しについては既に3回の会議を行い、議論をし、意見を集約した結果、令和7年度から2か年をかけた見直しを図ることとし、令和9年度から住民自治活動推進交付金に統合することで確認している。

鈴木教育長 統合後は担当する課が変わるようになるので、令和7年度からの話し合いに関しては住民自治活動を担当する課も交えて話し合いを進めていきたい。

鈴木教育長 つまりこれまで主体的に継続してきた分館活動はこれからも継続できるというところか。

鈴木教育長 分館が自治会か住民会かとするのではなく、一体的な話し合いを行っていくべきと考える。

小林議員 今後、住民自治活動推進交付金に統合されたとしても、これまで主体的かつ継続的に活動してきた地域活動に対しては支援が継続される



東中分館行事「かるた大会」の様子

鈴木教育長 統合後は担当する課が変わるようになるので、令和7年度からの話し合いに関しては住民自治活動を担当する課も交えて話し合いを進めていきたい。

ことを臨むが。

つぶやき...
町長は一期目の経験を活かして二期目に取り組んでいくのか。町長、町民、議会、職員が目線を合わせていくことができるだろうか...



小林 啓太 議員

ひとくちメモ
公民館分館管理運営交付金とは、活動単位が広範囲な11郡部においては公民館活動の拠点となる分館を設置し、その自主的活動の推進を目的として交付されてきたもの。今回の見直しは活動費の部分であり、施設管理とは異なる点に注意。

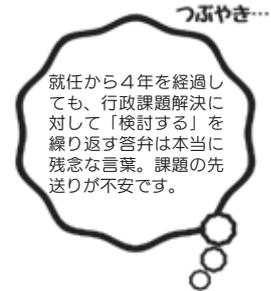
福祉
施設

ラベンダーハイツ、早急に建て替えては

町長－町全体の高齢者福祉施設のあり方を検討していく

齊藤町長 ラベンダーハイツは、特別養護老人ホーム、ショートステイ及びデイサービスと、それぞれの設置年に差はあるが、いずれの施設も経年劣化により修繕費が年々増加している状況にある。新年度予算において、高齢者施設経営コンサル事

林議員 ラベンダーハイツは、利用者やその家族にはなくてはならない施設だが、開設から40年が経過し、老朽化が進み修繕費も増加していることから、早期の建て替えの方針を決定することが急務と思われる。また、単に赤字補填をするのではなく、経営改善を図る経営強化プランの策定が急務と考えるが。



早期建て替えが望まれるラベンダーハイツ

業を予算化し専門業者に委託するよう取り進め、その結果によりラベンダーハイツ全体の将来像を見極めたいと考える。また、経営強化プランの策定については、収支の均衡のとれた運営を目指すことは当然のため、コン



林 敬永 議員

サル事業委託において、諸課題を分析した委託結果により、公設公営で人件費が固定される中、最適な規模やサービス内容など、経営をどういった方法で改善できるかを検討していく。

齊藤町長 予算編成については、町政執行方針で所信を述べさせていたいただいたので改めて述べることは差し控えるが、厳しい財政状況から特定の分野へ重点的に予算の配分はしなかった。全ての住民が必要なものを計上し、

林議員 令和7年度の予算編成にあたっては、山積する行政課題の対応に向けて日々思案されていると思うが、最も重点を置いた分野はどのなのか。また、町民福祉や公共サービスの予算は、どれほどの割合で配分されたのか。そして町民からの意見や要望は、どのように反映されたのか伺う。

町は、新年度にラベンダーハイツのみならず、町内のグループホームや小規模多機能型居宅介護事業所、介護医療院を含め町内の介護資源全体を多角的に分析し、どういった介護サービスと介護施設が必要かを把握するための予算418万円を計上した。



令和7年度予算書

金額ベースでの予算割合は決して高くはないが、持続可能なまちづくり、将来を見据えたまちづくりとして、第3子以降の出産祝い金、家賃補助による保育士確保対策、道の駅の機運醸成など、新規事業に配分できたと考えているところである。町民からの意見などは、町民ポストをはじめ、住民会長との町政懇談会、町長と語ろうなどで頂いた意見や要望について、十分に検討を加え、対応をしたところである。

子育て

こどもセンターの開館時間拡大の考えは

町長－ニーズを調査して検討したい

茶谷議員

新こどもセン

ターは土日・祝日に閉館してあり平日は閉館時間も早いため、保育所等に
通う園児や平日に働いている保護者から利用しづ
らいという意見があるが、
今後の開館日や開館時間
の拡大、変更等の考えは
ないか。

音藤町長

閉館時間を遅

くすることによって、こ
どもの生活リズムが崩れ
る可能性もあるため御理
解をお願いしたい。土曜
日は児童館を利用いただ
くことが可能であり、土
日・祝日も開放している
かみんのプレイルームの
ほうが広いつくりのため
そちらを利用していただ
きたい。

茶谷議員

冬の子どもの

つぶやき...

せったく10億円かけて新しくできたのに、土日はかみんのプレイルームをお使いくださいは一保護者として寂しい答弁と感じる...



茶谷 朋弘 議員



新こどもセンターのなかよしサロン

茶谷議員

更なる機能の

遊び場が少なく保護者か
らの要望が多いと思うが、
今後、幼児世代のプレイ
ールーム拡充の可能性は。
音藤町長 計画にない。
既存の施設を利用してど
こまでできるのか、皆さ
んのニーズ、要望等を聞
きながら考えていきたい。

充実・拡充の考えはない
のか。

音藤町長

こどもセンタ

ーができてよかった、あ
ってよかったと思われる
ことが一番大切なことで
あり、それに向けて行政
としては努力していきた
い。

地域おこし協力隊の定
住に向けて

茶谷議員 現在活動して

いる地域おこし協力隊員
の定住の見込みは。

音藤町長 条件が合えば

本町に定住していただ
けるものと考えている。

茶谷議員 定住に向けて

の課題は。

音藤町長 希望する職種

や待遇のよい就職先の有
無が定住に繋がる要因の
一つであるが、本町にお
いて就職先が少ない。

茶谷議員 地域おこし協

力隊をサポートするコー
ディネート会社の設立や
委託、移住コーディネー
ターの雇用の予定はある
か。

音藤町長 隊員数の増加
もあることからサポート
隊員数の増加
音藤町長 100%の定住と
いうのはなかなか現実的
に難しいかもしれないが、
100%に近づけようにな
る限り定住してもらおう
うな政策、力添えに努め
ていきたい。

会社等へ委託なども含め
検討したい。

茶谷議員 隊員から活動

内容のフィードバックや
今後の定住に向けた話し
合いなど特に行われてい
ないと聞いているが。

音藤町長 担当を含めて、

十分コミュニケーション
を図っていきたい。

茶谷議員 今の体制のま

まだと、2、3年後に定
住につながった隊員がほ
とんどいない最悪の結果
になる可能性もあるのだ
はないかと感じるが。

ひとくち
メモ

近隣の乳幼児の遊び場として富良野市「ハ
ズキッズランド」美瑛町「ピエールキッズ
コーナー」は土日も開放しており、多くの
利用者が賑わっている。また、中富良野町
も令和9年にできる駅前観光案内施設に乳
幼児が遊べるキッズスペースを配置予定。

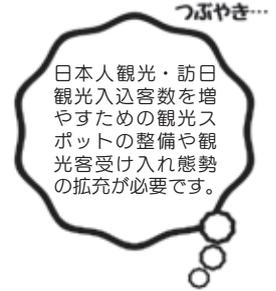
観光
振興

宿泊税導入の検討は

町長－導入や活用について検討したい

菅藤町長 宿泊税の導入については、コロナの5類への移行以後コロナ前に観光入込が戻りつつあり、自治体の財政負担も大きな課題となっている現状である。宿泊税については、観光コンテンツ維持・開発、交通の利便

米澤議員 観光振興の財源などとしてホテルや旅館などで宿泊した際に、新たに宿泊税を導入する自治体が増えてきている。町においても導入の動きがあると聞か一方、宿泊税の導入で、事務負担や客離れを懸念する声もある。導入においてはその目的、住民や関係する事業者などに説明し、理解と合意が必要と考えるが。



バックカントリースキー客などを受け入れている湯元凌雲閣

性の確保、インバウンド対策などの観光振興の財源確保としては、自治体にとっては有効な手段の一つと考えている。今後においては、検討・研究してまいりたい。住民や事業者との協議については、北海道の制度内容も



米澤 義英 議員

しっかりと把握したうえで住民や関係者との意見も踏まえ、協議が必要と理解をしている。導入に向けて観光事業者等ともより町民などの関係者とも協議を進め、研究・検討を進めてまいりたい。

鈴木教育長 現在設置している滑走式リフトについては、昭和60年の設置後40年が経過している。町民の利用はもとより、町内小中学校及び高校のスキー授業、少年団活動

米澤議員 日の出スキー場のリフトは、修繕をしながらの間、維持もされてきている。設置されてから年数も経過し老朽化している状況である。滑走式のリフトのために、子どもたちが利用した時は、スキーが左右に振られて転倒することもあり、危険な状況が見受けられる。利用客の安全を考えればチェア式リフトへの更新が必要では。

スキーリフトの更新を



宿泊税とは、観光振興を目的として宿泊施設の利用者から徴収される地方税の一種です。



スキーシーズンを終えた日の出公園

や駐屯地隊員のスキー訓練など、多くの機会で利用されている。チェア式リフトへの更新については、形状上、構造的に設置可能な場所の検討のほか、多額の費用が見込まれるなど、現在のスキー場の斜面形状や、滑走可能距離から想定される利用者層、また、スキー場利用者数の推移等を勘案しながら検討を進めたい。

病院

経営強化プランの見直しを図るべきなのは

町長－新病院移転後の経営状況を判断し見直しが必要

荒生議員

病院経営強化

プランでは、新病院開院後の一般病床数を30床、介護医療院を40床とし、常勤医師3名体制を基本に、開院後には現在の赤字経営から令和9年度に黒字に転ずることが示されている。しかしながら、現行の体制である常勤医師2名のまま新病院が開院された場合、当然ながら入院や外来患者数の計画数は見込めず、また、介護医療院においても現在の稼働率から推察すると、40床に増床をしてもすぐには満床にはならないと考える。このことから、我々に示された町立病院経営強化プランは今となっては、以前示された数字と現状との乖離が

つぶやき...

経営強化プランでは、常勤医師3名体制を基本としているが、現在の常勤医師1名が不足の状態のまま新病院開院となる。



5月1日に開院する新町立病院

大きくなっていると考える。ゆえに、早急に計画の見直しを図り、これからの病院経営をどのように行い、最終的に黒字化を目指すか我々町民に将来の展望を示すべきと考えるが町長の考えを伺う。

齊藤町長

経営強化プラン

の見直しについては、国のガイドラインにてプランに掲げた数値目標の達成が困難な場合や、地域医療構想とのそごが生じた場合などに見直すよう明記されていることか



荒生 博一 議員

ら、医師の確保や業務の改善・効率化といった現状の課題を踏まえつつ、

長岡町立病院事務長

デ

新病院移転後の経営状況を評価・検証した上で計画の見直しが必要と考えている。今後の病院運営については、町民が必要とする医療の提供ができる病院を将来にわたって維持・存続するため経営努力をして参りたい。

荒生議員

上富良野町立

荒生議員

令和7年度開

病院経営強化プランにおいては、デジタル化の推進ということで「患者の待ち時間の短縮や医療を提供する側の様々なメリットから早期の電子カルテ導入が望まれます。」とある。この5月1日に新病院は開院になるが、導入のめどはどのように

なっているのか伺う。
デジタル化ということで今後、電子カルテまたはオーダーリングについては、以前から申していたとおり、新病院と同時ではなかなか大変だということで見送っているが、令和7年度から検討をして早期に導入を目指したいと考えている。

齊藤町長

早期実現に向けて取り組んで参りたいと考えている。

ひとくちメモ

地域における医療の在り方や人口構造の変化に対応し、バランスのとれた医療提供体制の構築、実現を目指すため、本町が属する富良野区域においても富良野地区地域医療構想が策定されています。

議会の窓



2月10日	第2回臨時会
12日	議会懇談会
17日	厚生文教常任委員会
18日	厚生文教常任委員会
19日	議会災害対策支援本部 情報伝達訓練
21日	総務産建常任委員会
25日	議会運営委員会
26日	全員協議会、議会広報特別委員会
3月3日	第1回定例会(100目)
4日	第1回定例会(200目)
5日	第1回定例会(300目)
6日	第1回定例会(400目)
10日	予算特別委員会(100目)
11日	予算特別委員会(200目)
12日	予算特別委員会(300目)
13日	予算特別委員会(400目)
14日	第1回定例会(500目)
17日	全員協議会、第3回臨時会
4月8日	議会広報特別委員会
14日	議会広報特別委員会
22日	総務産建常任委員会、 厚生文教常任委員会

◆全国町村議会議長会より自治功労者表彰

岡本康裕副議長が町議会議員として15年以上、地方自治の振興・発展に功労され、全国町村議会議長会会長より2月5日に表彰されました。



◆固定資産評価審査委員会委員が決まりました

第1回定例会において、固定資産評価審査委員会に村岡昌仁さん、新屋雅己さん、高橋友美さんを選任する議案が提出され、全員賛成で同意されました。なお任期は3年です。



しんや まさみ
新屋 雅己さん



むらおか まさひと
村岡 昌仁さん



たかはし ともみ
高橋 友美さん

編集後記

この度の人事異動によって議会事務局次長が代わりました。

議会事務局は現在3名の職員で構成されており、議会が円滑に運営されるように議長をはじめとする議員をサポートしてまいります。

業務内容は本会議での議事進行補佐や音響操作、議事次第書の作成、議員提出議案作成の支援、会議録の作成、議員から依頼された調査事項の情報収集など多岐にわたります。

この議会だよりも職員のサポートがあつてはじめて遅延なく発行することが可能だと言つても過言ではありません。

事務局職員は私たち職員にとって欠かせない存在ではありますが、良好な関係を築くためにも「頼りすぎ」に注意しながら、お互いに距離感を大切にしています。

今後も我々の大切な仲間である事務局職員が専門的能力を存分に発揮できるよう努め、議会活性化につなげたいと思います。

(佐藤 記)

議会広報特別委員会

委員長	佐藤 大輔
副委員長	井村 悦丈
委員	湯川 千悦子
	林 敬永
	茶谷 朋弘

発行／上富良野町議会

編集／議会広報特別委員会